

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・未来社会を創造する ・歩み寄り ・学び続ける子の育成 ・ICT教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④Xをとり、地域で教育の推進 ③学校と地域の関係の構築 ②子どもと地域との協働による郷土教育の推進 ①豊かな心、健康な身体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	三枝を愛し、志高く自立する子	考えをもち、対話しながら創り出す力	【学びの保障】 「アイディアあふれる活動の推進」	基礎・基本の定着 探究的なプロセスの重視	「授業が楽しい」と感じている児童を増やす。	B	【第2回児童アンケート よくあてはまる・まあまああてはまると回答】 ●授業が楽しい 93%(前年度比±0% 第1回より+2%) ○授業でわかった・できたと思うことがよくある 94%(前年度比+2% 第1回より+2%) ○話し合い活動 87%(前年度比+4% 第1回より-4%) ○家庭学習 91%(前年度比+11% 第1回より-1%) →あてはまるの割合は伸びたが、「よくあてはまる」だけをピックアップすると、昨年度より減っている項目が複数ある(「授業が楽しい-7%」「わかる・できる-11%」「話し合い活動-5%」)。今後は、タブレット端末(ICT活用)とノート指導(アナログ)を併用しながら基礎・基本の定着を目指し、「できた、わかった」を増やしていく。また、今年度、家庭学習の評価項目を「学年×10分」から、「自分に合った家庭学習」に変更したため、児童の評価は上がったと考える。しかし、家庭学習の質が上がったとは言えない。今後は、タブレット端末を毎日持ち帰らせることで、漢字・計算ドリル以外にも家庭学習の可能性が広がると考える。
						「授業で『わかった』『できた』と思うことがよくある」と感じている児童を増やす。	B	
						「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりできた」と感じている児童を増やす。	B	
					基礎・基本の定着 (家庭学習の定着)	「今の自分に合った家庭学習をおこなうことができている」と感じている児童を増やす。	B	
					「なりたい自分」を意識した継続的な取組	「学校が楽しい」と感じている児童を増やす。	B	
						「願いをもって、達成できるように努力している」と感じている児童を増やす。	A	
				多様性を認め合う集団づくり		「仲間に呼びかけたり、呼びかけに応えたりできる」と感じている児童を増やす。	B	【第2回児童アンケート よくあてはまる・まあまああてはまると回答】 ●学校が楽しい 93%(前年度比±0% 第1回より-1%) ●願い・努力 98%(前年度比±0% 第1回より-1%) ●呼びかけ 95%(前年度比-2% 第1回より+2%) ○自分の気持ちを伝える 84%(前年度比+1% 第1回より±0%) →95%を超える項目が多く、学校生活に満足感をもっている児童は多い。しかし、「あてはまらない」と回答する児童が少なからずいるということを意識し、教育相談体制を含め、一人ひとりを大切にしたい指導・援助を行っていく。また、「自分の気持ちを伝えられる」という項目は、90%に達していない。授業の中で、係活動・委員会の中で、休み時間の中で等、自分の気持ちを表出する機会を多くもち、満足感の味わえる活動にしていこう。
						「相手に自分の気持ちを伝えられる」と感じている児童を増やす。	B	
				ふるさと教育	③ふるさとを知り、ふるさとの人々の想いや生き方に触れ、学ぶ ・敬老会との交流・職場体験 ・ホテルの飼育・かぶら市の開催 ・地域サポーター等との協働的な学び ・まちづくりへの参画	「学校で地域のことを勉強したり、体験したりすることがよくある」と感じている児童を増やす。	B	【第2回児童アンケート よくあてはまる・まあまああてはまると回答】 ●地域学習 87%(前年度比±0% 第1回より+3%) ○地域貢献 87%(前年度比+2% 第1回より+4%) →地域学習・貢献ともに90%に達していない。「総合的な学習の時間」の年間活動計画を基に、出口を見据えた活動を行う。また、今年度、地域貢献のアンケート項目の文言を少し書き加え、担任による補足説明をした。地域の祭への参加や登下校時の挨拶も立派な地域貢献ととらえる児童が増えた。今後も児童への価値付けを継続していく。
						「地域のために自分でやれそうなおこと何かをしている」と感じている児童を増やす	A	
				心に寄り添う教職員	⑤児童の幸せにつながるよう 心に寄り添う教職員 ・児童とともに挑戦できる健康な身体 ・学びあい、支えあえる集団 ・自分自身でタイムマネジメント(健康管理)	「困ったことがあったら、相談できる先生がいる」と感じている児童を増やす。	B	【第2回児童アンケート よくあてはまる・まあまああてはまると回答】 ●相談体制 84%(前年度比-6% 第1回より-1%) →90%に達していない。心のサポーター制度を充実させ、どの職員にでも相談できるような関係づくりを今後も大切にしていこう。 ○学校課題に応じて、計画的に学び続けることができた。 ○タイムマネジメントを職員自ら行うように努め、年次休暇の取得や時間外勤務時間の軽減につながった。 →今後も自分自身でタイムマネジメントしていく。留守番電話対応を行う。
						・研修主事を中心とした校内研修の充実 ・退校時刻の設定や健康管理等の状況	A	

学校運営協議会における主な評価内容	・「学校が楽しい」と感じる子が多く、子供たちが生き生きと生活していると感じた。 ・今後もいろいろな視点から知見を広げていけるとよい。自分の好きなことが見つけれられる活動の機会を多くもってほしい。 ・三枝小の育てたい資質・能力「自分の考えを伝える力」を付けようとしている取組がよく分かった。 ・1～6年生まで全員で助け合って仲よく楽しく学び合えるように地域の大人も見守っていただけたらと思う。
-------------------	--